



X91148A モジュール

Install and maintain

NetApp

February 13, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-systems/a700/x91148a-module-install-overview.html> on February 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

X91148A モジュール	1
X91148Aモジュールの追加の概要- AFF A700	1
空きスロットのあるシステムにX91148Aモジュールを追加- A700	1
スロットが開いていないシステムにX91148Aストレージモジュールを追加- A700	4

X91148A モジュール

X91148Aモジュールの追加の概要- AFF A700

システムに I/O モジュールを追加するには、NIC またはストレージアダプタをフル搭載システムの新しいアダプタに交換するか、新しい NIC またはストレージアダプタをシステムの空のシャーシスロットに追加します。

作業を開始する前に

- ・を確認します "[NetApp Hardware Universe の略](#)" 新しい I/O モジュールが、お使いのシステムおよび実行中の ONTAP のバージョンと互換性があることを確認します。
- ・複数のスロットが使用可能な場合は、でスロットの優先順位を確認します "[NetApp Hardware Universe の略](#)" また、お使いの I/O モジュールに最適なものを使用してください。
- ・無停止で I/O モジュールを追加するには、ターゲットコントローラをテイクオーバーし、ターゲットスロットのスロットブランクカバーを取り外すか、既存の I/O モジュールを取り外し、新しい I/O モジュールまたは交換用 I/O モジュールを追加して、ターゲットコントローラをギブバックする必要があります。
- ・他のすべてのコンポーネントが正常に機能していることを確認します。

空きスロットのあるシステムにX91148Aモジュールを追加-A700

システムの空のモジュールスロットに、100GbE NIC または NS224 ストレージシェルフのストレージモジュールとして X91148A モジュールを追加できます。

- ・システムで ONTAP 9.8 以降が実行されている必要があります。
- ・X91148A モジュールを無停止で追加するには、ターゲットコントローラをテイクオーバーし、ターゲットスロットのブランクカバーを取り外してモジュールを追加し、ターゲットコントローラをギブバックする必要があります。
- ・システムに使用可能な空きスロットが 1 つ以上必要です。
- ・複数のスロットがある場合は、X91148Aモジュールのスロット優先順位マトリックスに従って、"[NetApp Hardware Universe の略](#)"。
- ・X91148A モジュールをストレージモジュールとして追加する場合は'モジュールスロット 3 または 7 を取り付ける必要があります
- ・X91148A モジュールを 100GbE NIC として追加する場合は、任意の空きスロットを使用できます。ただし、デフォルトでは、スロット 3 と 7 がストレージスロットとして設定されます。これらのスロットをネットワークスロットとして使用し、NS224シェルフを追加しない場合は、`storage port modify -node node name -port port name -mode network` コマンドを実行しますを参照してください "[NetApp Hardware Universe の略](#)" X91148Aモジュールでネットワーク用に使用できるその他のスロット用。
- ・システムのその他のコンポーネントがすべて正常に動作している必要があります。問題がある場合は、必ずテクニカルサポートにお問い合わせください。

オプション1：X91148AモジュールをNICモジュールとして追加する

スロットが開いているシステムで、X91148A モジュールを NIC モジュールとして追加するには、特定の手順に従う必要があります。

手順

1. コントローラ A をシャットダウンします。
 - a. 自動ギブバックを無効にします。 「storage failover modify -node local-auto-giveback false」
 - b. ターゲットノードをテイクオーバーします。 「storage failover takeover -ofnode _target_node_name_」
テイクオーバーが完了すると、コンソール接続でノードが LOADER プロンプトに表示されます。
2. 接地対策がまだの場合は、自身で適切に実施します。
3. ターゲットスロットのブランクカバーを取り外します。
 - a. 文字と数字が記載されたカムボタンを押し下げます。
 - b. カムラッチを下に回転させて水平にします。
 - c. ブランкиングカバーを取り外す。
4. X91148A モジュールをインストールします
 - a. X91148A モジュールをスロットの端に合わせます
 - b. X91148A モジュールをスロットに差し込み ' 文字と数字が記載された I/O カムラッチが I/O カムピンにかみ合うようにします
 - c. I/O カムラッチを上に押してモジュールを所定の位置にロックします。
5. モジュールをデータスイッチにケーブル接続します。
6. LOADERプロンプトからコントローラAをリブートします。 bye



これにより、PCIeカードおよびその他のコンポーネントが再初期化され、ノードがリブートされます。

7. パートナーノードからノードをギブバックします。 「storage failover giveback -ofnode target_node_name_」
8. 自動ギブバックを無効にした場合は、有効にします。 「storage failover modify -node local-auto-giveback true」
9. コントローラ B について、上記の手順を繰り返します

オプション2：X91148Aモジュールをストレージモジュールとして追加する

オープン・スロットがあるシステムで X91148A モジュールをストレージ・モジュールとして追加するには、特定の手順に従う必要があります

- この手順は、スロット 3 または 7 が開いていることを前提としています。

手順

1. コントローラ A をシャットダウンします。
 - a. 自動ギブバックを無効にします。 「storage failover modify -node local-auto-giveback false」
 - b. ターゲットノードをテイクオーバーします。 「storage failover takeover -ofnode target_node_name」

テイクオーバーが完了すると、コンソール接続でノードが LOADER プロンプトに表示されます。
2. 接地対策がまだの場合は、自身で適切に実施します。
3. ターゲットスロットのブランクカバーを取り外します。
 - a. 文字と数字が記載されたカムボタンを押し下げます。
 - b. カムラッチを下に回転させて水平にします。
 - c. ブランкиングカバーを取り外す。
4. X91148A モジュールをスロット 3 に取り付けます
 - a. X91148A モジュールをスロットの端に合わせます
 - b. X91148A モジュールをスロットに差し込み ' 文字と数字が記載された I/O カムラッチが I/O カムピンにかみ合うようにします
 - c. I/O カムラッチを上に押してモジュールを所定の位置にロックします。
 - d. ストレージ用に 2 つ目の X91148A モジュールを取り付ける場合は、スロット 7 のモジュールに対してこの手順を繰り返します。
5. コントローラ A をリブートします。
 - 交換用モジュールが古いモジュールと同じモデルでない場合は、BMCをリブートします。
 - i. LOADERプロンプトで、advanced権限モードに切り替えます。 set -privilege advanced
 - ii. BMCを再起動します：「SP reboot
 - 交換用モジュールが古いモジュールと同じ場合は、LOADERプロンプトからブートします。 bye
6. パートナーノードからノードをギブバックします。 「storage failover giveback -ofnode target_node_name」
7. 自動ギブバックを無効にした場合は、有効にします。 「storage failover modify -node local-auto-giveback true」
8. コントローラ B について、上記の手順を繰り返します
9. の説明に従って、NS224シェルフを設置してケーブル接続し "[ホットアトワクフロオ](#)" ます。



これにより、PCIeカードおよびその他のコンポーネントが再初期化され、ノードがリブートされます。

スロットが開いていないシステムにX91148Aストレージモジュールを追加-A700

システムに搭載された 1 つ以上の既存の NIC またはストレージモジュールを 1 つ以上取り外して、完全に装着されたシステムに 1 つ以上の X9118X911A ストレージモジュールを取り付ける必要があります。

- ・システムで ONTAP 9.8 以降が実行されている必要があります。
- ・X91148A モジュールを無停止で追加するには、ターゲットコントローラをテイクオーバーし、モジュールを追加してから、ターゲットコントローラをギブバックする必要があります。
- ・X91148A モジュールをストレージアダプタとして追加する場合は'スロット 3 または 7 にモジュールを取り付ける必要があります
- ・X91148A モジュールを 100GbE NIC として追加する場合は、任意の空きスロットを使用できます。ただし、デフォルトでは、スロット 3 と 7 がストレージスロットとして設定されます。これらのスロットをネットワークスロットとして使用し、NS224シェルフを追加しない場合は、`storage port modify -node node name -port port name -mode network` 各ポートに対してコマンドを実行します。を参照してください ["NetApp Hardware Universe の略"](#) X91148Aモジュールでネットワーク用に使用できる他のスロット用。
- ・システムのその他のコンポーネントがすべて正常に動作している必要があります。問題がある場合は、必ずテクニカルサポートにお問い合わせください。

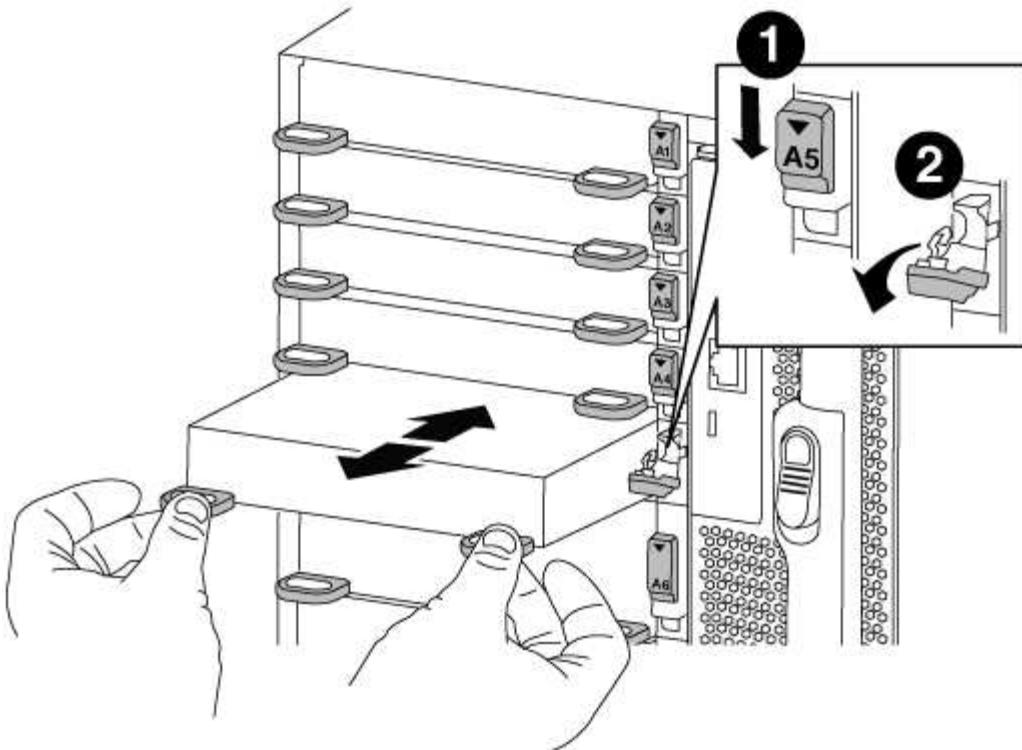
オプション1：X91148AモジュールをNICモジュールとして追加する

1つ以上の X91148A NIC モジュールをフル装備のシステムに取り付けるには、システム内の既存の NIC またはストレージモジュールを 1 つ以上取り外す必要があります。

手順

1. X91148A モジュールを、X91148A モジュールと同じ数のポートを持つ NIC モジュールを含むスロットに追加する場合は、コントローラモジュールのシャットダウン時に LIF が自動的に移行されます。交換する NIC モジュールのポート数が X91148A モジュールよりも多い場合は、影響を受ける LIF を別のホームポートに完全に再割り当てる必要があります。を参照してください "["LIF を移行する](#)" System Manager を使用して LIF を完全に移動する方法について
2. コントローラ A をシャットダウンします。
 - a. 自動ギブバックを無効にします。「storage failover modify -node local-auto-giveback false」
 - b. ターゲットノードをテイクオーバーします。「storage failover takeover -ofnode _target_node_name_」

テイクオーバーが完了すると、コンソール接続でノードが LOADER プロンプトに表示されます。
3. 接地対策がまだの場合は、自分で適切に実施します。
4. ターゲット I/O モジュールのケーブルをすべて取り外します。
5. ターゲットの I/O モジュールをシャーシから取り外します。
 - a. 文字と数字が記載されたカムボタンを押し下げます。
カムボタンがシャーシから離れます。
 - b. カムラッチを下に回転させて水平にします。
I/O モジュールがシャーシから外れ、I/O スロットから約 1/2 インチアウトします。
 - c. I/O モジュール前面の両側にあるプルタブを引いて、I/O モジュールをシャーシから取り外します。
I/O モジュールが取り付けられていたスロットを記録しておいてください。



1	文字と数字が記載された I/O カムラッチ
2	ロックが完全に解除された I/O カムラッチ

6. X91148A モジュールをターゲットスロットに取り付けます
 - a. X91148A モジュールをスロットの端に合わせます
 - b. X91148A モジュールをスロットに差し込み '文字と数字が記載された I/O カムラッチが I/O カムピンにかみ合うようにします'
 - c. I/O カムラッチを上に押してモジュールを所定の位置にロックします。
7. コントローラ A の他のモジュールについても、取り外しと取り付けの手順を繰り返して交換します
8. モジュールをデータスイッチにケーブル接続します。
9. LOADERプロンプトからコントローラ A をリブートします。 `bye`



これにより、PCIeカードおよびその他のコンポーネントが再初期化され、ノードがリブートされます。

10. パートナーノードからノードをギブバックします。 `storage failover giveback -ofnode target_node_name`
11. 自動ギブバックを無効にした場合は、有効にします。 `storage failover modify -node local-auto-giveback true`
12. スロット 3 または 7 の NIC モジュールとして X91148A モジュールを追加した場合は、ネットワーク

用に、各ポートに対して「`storage port modify -node name _ port_port name-mode network`」コマンドを使用します。

13. コントローラ B について、上記の手順を繰り返します

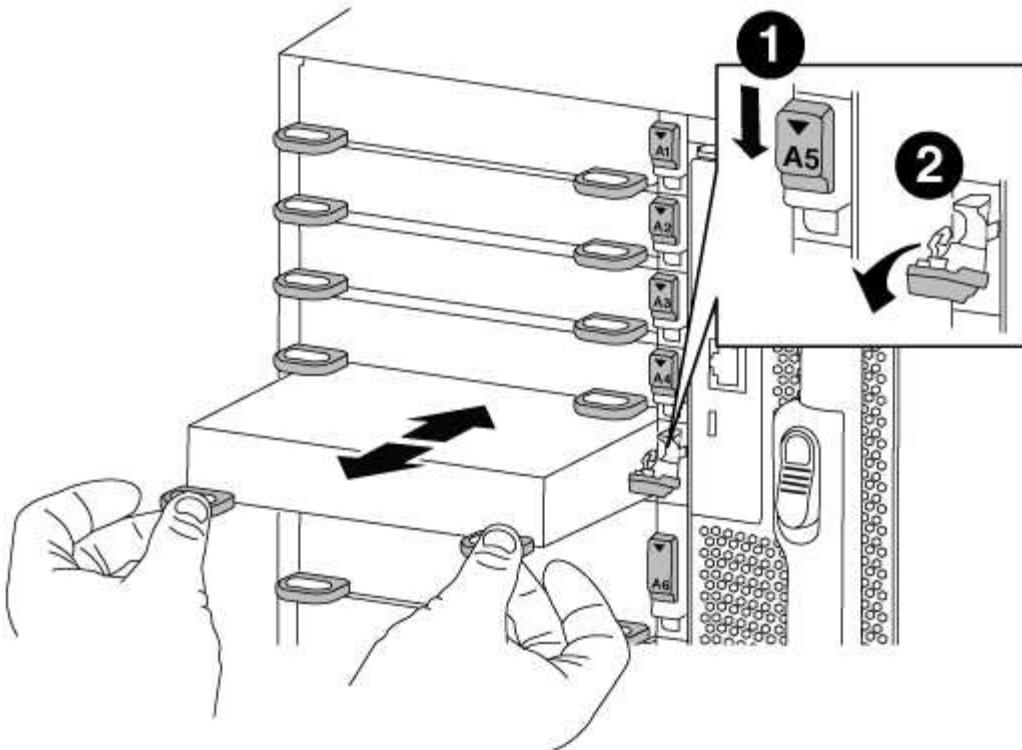
オプション2：X91148Aモジュールをストレージモジュールとして追加する

1つ以上の X91148A ストレージモジュールをシステムにインストールするには、システム内の既存の NIC またはストレージモジュールを 1つ以上削除する必要があります。

- この手順では、X91148A モジュールをスロット 3 または 7 に取り付ける必要があります。

手順

- スロット 3 および / または 7 のストレージモジュールとして X91148A モジュールを追加する場合は、System Manager を使用して、LIF を別のホームポートに完全に移行します。詳細については、を参照してください "[LIF を移行する](#)"。
 - コントローラ A をシャットダウンします。
 - 自動ギブバックを無効にします。「`storage failover modify -node local-auto-giveback false`」
 - ターゲットノードをテイクオーバーします。「`storage failover takeover -ofnode target_node_name`」テイクオーバーが完了すると、コンソール接続でノードが LOADER プロンプトに表示されます。
 - 接地対策がまだの場合は、自身で適切に実施します。
 - ターゲット I/O モジュールのケーブルをすべて取り外します。
 - ターゲットの I/O モジュールをシャーシから取り外します。
 - 文字と数字が記載されたカムボタンを押し下げます。
カムボタンがシャーシから離れます。
 - カムラッチを下に回転させて水平にします。I/O モジュールがシャーシから外れ、I/O スロットから約 1/2 インチアウトします。
 - I/O モジュール前面の両側にあるプルタブを引いて、I/O モジュールをシャーシから取り外します。
- I/O モジュールが取り付けられていたスロットを記録しておいてください。



1	文字と数字が記載された I/O カムラッチ
2	ロックが完全に解除された I/O カムラッチ

6. X91148A モジュールをスロット 3 に取り付けます
 - a. X91148A モジュールをスロットの端に合わせます
 - b. X91148A モジュールをスロットに差し込み '文字と数字が記載された I/O カムラッチが I/O カムピンにかみ合うようにします'
 - c. I/O カムラッチを上に押してモジュールを所定の位置にロックします。
 - d. ストレージ用に 2 つ目の X91148A モジュールを取り付ける場合は、スロット 7 のモジュールについても、取り外しと取り付けの手順を繰り返します。
7. LOADERプロンプトからコントローラAをリブートします。 `bye`



これにより、PCIeカードおよびその他のコンポーネントが再初期化され、ノードがリブートされます。

8. パートナーノードからノードをギブバックします。 `storage failover giveback -ofnode target_node_name _`
9. 自動ギブバックを無効にした場合は、有効にします。 `storage failover modify -node local-auto-giveback true`」
10. コントローラ B について、上記の手順を繰り返します

11. の説明に従って、NS224シェルフを設置してケーブル接続し "[ホットアトワクフロオ](#)" ます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。